

6人の議員が 町政を問う

小磯利雄 P10

- 広野町社会福祉協議会について
- 本社機能移転等事業者支援について

門馬まりえ P11

- 子育て応援「町ぐるみ」で
- 福祉のまちづくりの現状と展望について

阿部憲一 P12

- 道の駅推進の責任は
- 町長は法律無視をやめよ
- 職員の幸せを考えよ

渡邊正俊 P13

- 福島国際研究教育機構を核とした
広域連携による波及効果について

北郷伯弘 P14

- 広野町環境基本条例に基づく
環境基本計画の策定について
- 折木字下原地区採石場埋め戻し計画について

畑中 大子 P15

- マイナンバーカード・マイナ保険証に関する
問題が多発している件について
- 汚染水の海洋放出とGX（グリーントランス
フォーメーション）電源法案について
- ニツ沼直売所の現状について

一般質問は、行政全般にわたって
執行機関に疑問点をただし、説明を
求めたり所信を問いたすものです。

追跡 レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁
がその後どうなったのか、どう町政に反映させて
いるのか、対応を追跡しました。

令和5年3月定例会 一般質問

門馬 巧 議員
畑中 大子 議員

地域公共交通活性化事業に デマンド交通の導入を

町民バスを公共施設等を結ぶ循環形式に変更
し、タクシー利用料金助成事業の助成額を増額
する町の事業案では、遠隔地住民の生活が成り
立たない。デマンド交通を導入すべき。

デマンド交通を導入した 事業案に変更

路線バス形式の町民バスを週3日（月・水・
金）、デマンド交通を週2日（火・木）運行す
る事業案に変更され、デマンド交通が7月より
始まることとなりました。

7月4日（火）運行を開始しました

7月4日（火）、役場前で出発式が行われ、
同日、3人の利用がありました。



デマンド交通（ジャンボタクシー）

特別委員会報告

議員定数に関する特別委員会

委員長 門馬 まりえ

令和5年4月25日（火）

議員定数に関し、現状維持か削減か各委員活発に意見交換し、議員定数の削減により
生じるメリット・デメリットが提示された。

●削減反対意見

- ・ 議員定数を減らすことで、議員活動が狭まっていくのではないかと懸念。
- ・ 町村の全国平均が定数12人。定数を削減して、今後増やすことは難しい。

●削減賛成意見

- ・ 定数が減ると、議員一人一人が背負う町民の数に重みが出てくる分、町内をつぶさに
知ろうという努力が出てくる。
- ・ 議員のなり手不足。特に若い方々の参加が少ない中、前回の町議選は無投票であった
ことを考慮すべきとの町民の意見を聞く。

令和5年5月25日（木）

議員定数8人で運営する県内7町村にアンケート調査を実施し、結果を委員に報告した。
令和5年11月の議員任期満了を見据え、今回の委員会において結論を出すことを前提とし
て意見交換を行った。

●削減反対意見

- ・ 議員定数問題は議会改革とセット。若い人や背景の違う人も参加できるような環境づく
りや、町政の課題、将来の展望についても議論をするべき。
- ・ 定数削減により意見が偏り、多様性が無くなる。

●削減賛成意見

- ・ 町民から選挙で選ばれて初めて議員である。町民に選択肢を与えない議会ではだめ。
- ・ 定数を削減しても最大限住民の意見が反映される議会運営方法を考えればよい。

結論

委員会の総意として結論を出すには至らなかったものの、町の議員のなり手不足や、町民
の皆様の参政権を行使させてほしいとの意見もあり、議員定数については定数8人に削減す
ることが必要であるとの結論に至りました。

このことにより「広野町議会議員定数条例」及び「広野町議会委員会条例」の改正が必要
になることを申し添える。

● 議員定数削減賛成委員 5人

副委員長 小磯利雄
委員 渡邊正俊
委員 門馬 巧
委員 遠藤 浩
委員 北郷伯弘

● 議員定数削減反対委員 0人

● 議員定数表決退席委員 2人

委員 畑中大子
委員 阿部憲一



特別委員会の様子